

第2回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和元年9月26日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、医療・介護職、住民代表、警察・消防等の委員が、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

●● 第2回協議会の主な内容 ●●

「在宅医療・介護連携推進事業の評価指標」について検討しました。

在宅療養体制は①日常の療養支援、②急変時の対応、③入退院時の連携、④看取りの対応の4つの体制に分けられます。各体制の充実を図っていくことで、本人が望む生き方が最期まで出来ると共に、ご家族も不安なく寄り添えることにつながります。

市では、4つの体制の充実と、在宅医療についての市民啓発の推進、在宅療養を支える多職種連携の推進を主な目標に掲げ、目標を達成するための事業や取り組みを評価する指標について協議会で検討しました。



課題別ワーキング活動報告

在宅医療・ 救急医療連携

自宅や介護施設、病院、救急現場などで起きている看取りや急変時対応の現状、課題を整理しました。終末期医療についての本人の意向把握の重要性、施設における看取りや急変時対応力の向上等、具体策の検討を行います。

多職種連携 研修企画

第1回研修会「アドバンス・ケア・プランニング」をテーマに8月に開催し、医療・介護職、消防等43名の参加がありました。人生の最終段階に関わる現場の方々が、日頃感じている思いについて、グループワークで共有しました。

市民啓発

市民に向けた在宅医療やアドバンス・ケア・プランニング等の普及啓発のあり方を検討しています。今年で2回目となる市民向けイベント「しろい在宅医療フォーラム」(12月8日開催)の企画に取り組んでいます。

入退院時 連携

昨年度から取り組んできた「白井市入退院時連携ルールBOOK」を完成させました。病院とケアマネジャーが入退院時連携を円滑に行うために、お互いに守っていただきたいルールや関連情報がまとめられています。

認知症対策

認知症の介護者を対象にした「らくらく介護教室」の内容について検討し、9月に教室を開催しました。当日の運営もメンバーにご協力いただきました。